



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授

1. 教授 2名
2. (1) 東北大学大学院理学研究科天文学専攻
(2) 東北大学大学院理学研究科（仙台市青葉区）
3. 広い意味での観測天文学（装置開発も含む）
4. 東北大学における観測天文学の研究、学生の教育、および大学運営
5. (1) 平成29年4月1日あるいはそれ以降のできるだけ早い時期
(2) 任期なし
6. 大学院博士課程修了または同等以上
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷またはコピー（5編以内）、研究計画書、本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 平成28年8月31日(水)（必着）
9. 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
東北大学大学院理学研究科
天文学専攻長 千葉証司
Tel: 022-795-6505 Fax: 022-795-6513
e-mail: chiba@astr.tohoku.ac.jp
10. 応募書類は封筒に「親展」と朱書し、簡易書留で送付のこと。（応募書類はお返しいたしません。提出されたすべての個人情報、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、責任をもって破棄いたします。）
11. 給与は本学規程による。
東北大学は男女共同参画を推進しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

愛媛大学宇宙進化研究センター教員

1. 准教授または助教1名（助教の場合はテニユア・トラック制度を適用）
2. (1) 国立大学法人愛媛大学宇宙進化研究センター
(2) 愛媛県松山市文京町2-5
3. 宇宙物理学
4. (1) 宇宙物理学の先端研究の推進（宇宙進化研究センターの教員と協力して研究を進められる方が望ましい）(2) 学部及び大学院における教育
(3) 宇宙進化研究センターの運営
5. (1) 平成28年10月1日あるいはこれ以降のできるだけ早い時期
(2) 准教授：任期なし（就業規則により、定年は65歳）、助教：任期5年（テニユア・トラック制度を適用）
6. 博士の学位を有するか、または着任までに取得見込みであること
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴（2,000字以内）、(3) 業績リスト（著書、原著論文、総説、その他論文等に分類し、原著論文については、題目、発表年、著者、発表雑誌名、巻、頁の順に記載すること）、(4) 主要論文別刷またはコピー（3編以内）、(5) 研究計画書（2,000字以内）、(6) 教育に対する抱負（2,000字以内）、(7) 外部資金の獲得状況（代表、分担の別および研究費総額を明記）、(8) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 平成28年6月30日(木)（必着）
9. 〒790-8577 愛媛県松山市文京町2-5
愛媛大学宇宙進化研究センター センター長
粟木久光
Tel: 089-927-9582 Fax: 089-927-8430
e-mail: awaki@astro.phys.sci.ehime-u.ac.jp
10. 応募書類は封筒に「親展」と朱書し、簡易書留で送付してください。また、「7. 提出書類」のうち、

(2), (3) および (5)~(7) を一つのPDFファイルにまとめ、件名に「応募書類」と明記のうえ、e-mailにて上記アドレスへ提出してください。なお、応募書類に記載された個人情報、選考手続および採用手続のために利用し、選考終了後は、責任をもって破棄いたします。

11. (1) 給与については、年俸制が適用されます。
- (2) 選考の過程でセミナーをお願いし、面接を行うことがあります。ただし、そのための費用(旅費を含む)は応募者の負担といたします。
- (3) 愛媛大学宇宙進化研究センターについては以下のホームページを参照してください。
<http://www.cosmos.ehime-u.ac.jp/>
- (4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し、教員の選考を行います。
- (5) 愛媛大学では、総合力(教育力・研究力・マネジメント力)の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア・トラック制度」を導入しました。詳細についてはテニユア・トラック制度に関するホームページ(<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>)をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授

1. 2015年9月(第108巻第9号)
2. 田中秀和(北海道大学)
3. 2016年4月1日

平成28年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

1. 2015年9月(第108巻第9号)以下、すべて共通
2. 岡本文典(名古屋大学宇宙地球環境研究所・研究機関研究員)
3. 2016年4月1日 以下、すべて共通
2. 萩原正博(コートダジュール天文台・日本学術振興会海外特別研究員)
2. 林将央(国立天文台光赤外研究部・日本学術振興

会特別研究員)

2. 守屋堯(ボン大学アルゲランダー天文学研究所・日本学術振興会海外特別研究員)

平成28年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制特任研究員)

○太陽観測所

1. 2015年11月(第108巻第11号)以下、すべて共通
2. Joshi, Anand D. (Korea Astronomy and Space Science Institute Post-Doctoral Fellow)
3. 2016年4月1日

○ひので科学プロジェクト

2. Lee, Kyoung Sun (JAXA宇宙科学研究所・ひのでプロジェクト研究員)
3. 2016年4月1日

○天文シミュレーションプロジェクト

2. 大谷友香理(東京大学大学院理学系研究科・大学院生)
3. 2016年4月1日

○ハワイ観測所

2. 新納悠(国立天文台光赤外研究部・日本学術振興会特別研究員)
高木悠平(兵庫県立大学西はりま天文台・天文学研究員)
3. 2016年4月1日

○TMT推進室

2. 久保真理子(東京大学宇宙線研究所・特任研究員)
3. 2016年4月1日

○太陽系外惑星探査プロジェクト

2. 小西美穂子(大阪大学大学院理学研究科・大学院生)
3. 2016年4月1日

○チリ観測所

2. 泉奈都子(東京大学大学院理学系研究科・大学院生)
3. 2016年4月1日
2. Lu, Xing (Nanjing University・大学院生)
3. 2016年8月1日

2. Neelamkodan, Naslim (Academia Sinica Institute of Astronomy and Astrophysics・Postdoctor research fellow)
3. 2016年9月1日

○天文データセンター

2. 本間英智 (東北大学大学院理学研究科・大学院生)
3. 2016年4月1日

○先端技術センター

2. 内山瑞穂 (国立天文台TMT推進室・日本学術振興会特別研究員)
3. 2016年4月1日

国立天文台野辺山宇宙電波観測所年俸制職員 (特任助教)

1. 2016年2月 (第109巻第2号)
2. 鳥居和史 (名古屋大学研究員)
3. 2016年5月1日

研究助成

公益財団法人宇宙科学振興会 2016年度 助成事業 2件

公益財団法人 宇宙科学振興会

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野における学術振興を目指し、2016年度も引き続き下記の助成事業を行います。それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ：<http://www.spss.or.jp>に掲載しています。それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページご参照のうえ、申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付のうえ、財団宛に電子メール (admin@spss.or.jp) で申請ください。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

(1) 国際学会出席旅費の支援

●支援対象

宇宙理学 (地上観測を除く) および宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者 (当該年度4月2日で35歳以下)、またはシニアの研究者 (当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者) で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

- 助成金額・件数: 1件あたり10~25万円程度, 年間10件程度
- 申込受付時期
応募締切り2016年8月31日: 2016年10月1日~2017年3月31日の間の出発者対象
応募締切り2017年2月28日: 2017年4月1日~2017年9月30日の間の出発者対象

(2) 国際学会開催の支援

●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体 (研究所, 大学等) で, 宇宙理学 (地上観測を除く) および宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する国際学会, 国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

- 助成金額・件数: 1件あたり30~50万円程度, 年間3~5件程度
- 申込受付時期
応募締切り2016年8月31日: 2016年10月1日~2017年3月31日に開催の国際学会対象
応募締切り2017年2月28日: 2017年4月1日~2017年9月30日に開催の国際学会対象
- 照会先
公益財団法人宇宙科学振興会事務局
<http://www.spss.or.jp>
〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1
e-mail: admin@spss.or.jp
Tel: 042-751-1126

研究会・集案案内

京都大学飛騨天文台一般公開のお知らせ

京都大学飛騨天文台では、来たる8月27日(土)に一般公開を行います。施設の公開と天体観望会を行い、京大天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明します。

事前申込が必要です。定員100名 (抽選)。

<一般公開>

- 日時: 2016年8月27日(土) 13:00~20:30
場所: 岐阜県高山市上宝町蔵柱京都大学大学院理学研究科附属飛騨天文台
公開施設: ドームレス太陽望遠鏡 (DST), 太陽磁場活動望遠鏡 (SMART)
65 cm 屈折望遠鏡, 60 cm 反射望遠鏡

内 容: DSTによる太陽像と分光スペクトル観望
(昼)
SMARTによる太陽像の観察(昼)と解説
65 cm屈折望遠鏡および小型望遠鏡による
夜間天体観望(土星など)
最先端の天文学研究解説(講演)
工作教室など体験型企画ほか

〈交通機関〉

公共交通機関がありませんので、JR高山駅または上宝支所(高山市上宝町本郷)までお越しください。JR高山駅と上宝支所からシャトルバス(有料)を運行します。詳細は、附属天文台のホームページをご覧ください。

〈申込方法〉

ホームページからお申込みください。
受付期間: 7月1日(金)から7月19日(火)
定員: 100名(申込み多数の場合は抽選)
抽選結果は、7月末までにお知らせします。

〈問合せ先〉

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱
京都大学飛騨天文台
Tel: 0578-86-2311 Fax: 0578-86-2118
e-mail: hida2016@kwasan.kyoto-u.ac.jp
e-mailでのお問い合わせの場合は、件名を「8/27飛騨一般公開」としてください。

〈附属天文台ホームページ〉

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

〈主催〉 京都大学大学院理学研究科附属天文台、
NPO法人花山星空ネットワーク

〈後援〉 岐阜県高山市

〈協力〉 高山観光バス

第12回最新の天文学の普及をめざす

ワークショップ

テーマ: 重力波天文学

〈参加者募集〉

国立天文台天文情報センターは、現在行われている天文学研究最前線の様子を広く社会に伝えるため、天文学普及のためのワークショップを開催いたします。

日 時: 2016年10月2日(日) 13:00~4日(火) 16:00

場 所: 富山大学 および 東京大学宇宙線研究所
神岡地区

対 象: プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及にかかわっている方、および科学コミュニケーターや科学教育普及に興味をもつ学生。

募集人数: 45名

参加費: 無料(ただし、懇親会・交通費等は実費をご負担いただきます)

宿泊: 各自で確保精算をお願いします。

移動手段: 最終日は富山駅から東京大学宇宙線研究所神岡地区まで専用の低公害バスで移動します。自家用車での神岡地区入場はできませんのでご注意ください。

応募方法: 希望者は氏名、連絡先、e-mailアドレス、所属を明記して、レポート「重力波天文学に期待するもの」(800字以内程度)を添えて7月7日までにWeb上の申込みフォームよりご応募ください。参加者選考結果は7月14日までに本人あて通知します。

応募締切: 2016年7月7日(木)

応募先: <http://prc.nao.ac.jp/fukyu/wspcea/>

主催: 自然科学研究機構 国立天文台

共催: 天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会

後援: 日本天文学会

協力: 富山大学、東北大学ニュートリノ科学研究センター、東京大学宇宙線研究所

ワークショップの目標

- (1) 重力波天文学の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育現場で活用してもらうため
- (2) 重力波天文学を理解するためのフレームワーク作りのため
- (3) 研究者ならびに関係者とのコラボレーションのため

主な内容(予定)

* 講義: 10月2日(日)、3日(月) [会場: 富山大学]

- Direct observation(重力波の検出について)
- 超新星
- 中性子星連星合体とフォローアップ観測
- ガンマ線バースト
- ブラックホール連星I
- ブラックホール連星II
- 将来計画と初期宇宙観測

* 見学: 10月4日(火) [会場: 東京大学宇宙線研究所神岡地区]

KAGRAおよびスーパーカミオカンデ、カムランド見学(スーパーカミオカンデ、カムランドはいずれか一方)

問合せ先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

自然科学研究機構国立天文台

天文情報センター

根本しおみ・波田野聡美

Tel: 0422-34-3900(内線3148)

Fax: 0422-34-3810

e-mail: WS_pcea@prcml.mtk.nao.ac.jp

「東京大学木曾観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所」特別公開のお知らせ

東京大学木曾観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所を一般の皆様にご公開いたします。当日は、普段近くで見ることができない望遠鏡や観測装置を間近で見ることができる他、講演、研究紹介、天文工作なども行われます。

開催日時：2016年8月6日(土)

*13時～18時：講演会、研究紹介、天文工作、昼間の星の観望

*19時～21時：天体観望会（雨天中止）

2016年8月7日(日)

*10時～16時：講演会、研究紹介、天文工作、昼間の星の観望

開催場所：長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30

交通：JR中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約30分

問合せ先：木曾観測所 TEL: 0264-52-3360

木曾観測所ホームページ：

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

宇宙地球環境研究所ホームページ：

<http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/study02.html>

※尚、事前申し込みは不要で、入場無料です。食堂はありません。

会務案内

休会制度の休会最長期間の延長について

日本天文学会では、正会員が病気療養や産休、育児、介護休暇などのため一時的に学会活動ができない場合の休会制度を設けております。その休会期間はこれまで日本天文学会の会計年度（4月-3月）単位で“原則として最長2年”でしたが、このたび、“原則として最長3年”とすることになりましたので、お知らせします。

ホームページの休会制度のページ

<http://www.asj.or.jp/asj/kyukai.html> を参照ください。

（庶務理事：山下卓也）

正会員の入会に必要な推薦者について

本会正会員への入会には本会正会員1名による推薦が必要ですが、事情により入会後に推薦者の変更を希望される方は学会事務に連絡ください。

ホームページの入会案内のページ

<http://www.asj.or.jp/asj/guide.html> を参照ください。

（庶務理事：山下卓也）

2017年度内地留学奨学金の希望者の募集

2017年度内地留学奨学金希望者の募集を行います。内地留学奨学金は、主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などや、アマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、その研究者の指導を受けて研究活動を行うこととなります。これまで多くの方々がこの制度を利用し、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。過去の奨学金の対象となった研究テーマは、本会の会員名簿の巻末、および学会ホームページ

(http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)

に掲載されています。なお、研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者がわからない場合は、できるだけ早めに、内地留学奨学金選考委員長にご相談ください。

多くの方々の応募をお待ちしています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採択数：若干名

留学期間：2017年4月から2018年3月までの12カ月のうち希望する期間。

受入研究機関、指導教員（受入研究者）と相談のうえ、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定したりする方法が考えられます。研究終了後、2カ月以内に研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25万円以下。支給は2017年4月を予定。

申込み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得たうえ、

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内 日本天文学会理事長 あて

に郵送してください。

応募締切: 2016年8月31日(水) 必着.

審査: 内地留学奨学金選考委員会(内規第5条)で審査のうえ, 決定し, 10月中旬に通知します.

応募用紙: 日本天文学会事務所にあります(学会事務所に連絡をくだされば, お送りします). 申請書の書き方の例もありますので, ご請求ください. 日本天文学会のウェブページ(「各種手続・書式」の「内地留学」の項, http://www.asj.or.jp/asj/naichi_app.html)からもダウンロードできます. なお, 日本天文学会会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります.

ご相談・問合せ先: 内地留学奨学金選考委員長
濤崎智佳
(〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 自然・生活教育学系)
Tel/Fax: 025-521-3413
e-mail: tosaki@juen.ac.jp

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったず必要事項を埋めてください.

するとアップロードに進むことができます. ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください. 押すたびに欄が増えます.

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます.(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが, やむをえない場合は分割してお送りください).

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています. したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません.

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません.

その場合は従来どおり, toukou@geppou.asj.or.jp までメールでご投稿ください.

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は youtsumi@hiroshima-u.ac.jp まで, またその他のご質問は toukou@geppou.asj.or.jp までお願いします.

(天文月報編集長)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol98**(5文字)の計10文字を入力してください. 「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です. ○○○○○は各号共通の数字です.

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年6月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます.

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)